今月の表紙

　11月13日、岩出山地域の特別養護老人ホームにこトピアいわでで、金属塀描画の完成お披露目会が行われました。

地域との交流を深めることを目的に、にこトピアいわでが企画し、岩出山地域づくり委員会が協力すると共に、岩出山高校の美術部員や地域住民などが制作に携わりました。生徒たちは、休日を利用しながら、約3カ月かけて描画を制作しました。

　描画は、縦1.8メートル、幅8.7メートルで、本市の四季が表現され、大崎市誕生15周年を記念し、市の花「ひまわり」、市の木「桜」、市の鳥「マガン」が描かれています。

　制作に参加した生徒は、「こんなに大きな絵を描くのは初めての経験。描画を見た人に笑顔になってもらいたい」と話していました。

**大崎市公式SNS**

**発信しています！**

市公式SNS（、）では、観光やイベント情報など、さまざまな最新情報を発信しています！

QRコードから、登録をお願いします。

Twitter　@osaki\_city

Facebook

問い合わせ 秘書広報課広報広聴担当 電話番号23-5023

広報おおさき12月号2021 No.189

目次

4 新型コロナウイルスワクチン接種情報

6 令和3年大崎市表彰式

 8 令和2年度決算の概要

12 富山県黒部市と姉妹都市提携を行いました

14　　 オオサキプレイガイド

16 Discover Osaki

17 Osaki Culture

18　　 くらしの情報　　各計画に対する皆さんからの意見を募集します　ほか

28 子育て支援情報

29 育児相談・乳幼児健診

30 相談コーナー

31 休日救急当番医　ほか

32 大崎市誕生15周年記念式典開催

パタ崎さんの食育コラム

その8　感染症胃腸炎を予防しよう！

問い合わせ 世界農業遺産推進課 電話番号23-2281

毎年12月から１月にかけて、ノロウイルスなどの感染症胃腸炎に感染する人が増えるんだ。

　そこで、予防対策の７つのポイントを教えるね！

❶トイレの後・食事の前・調理の前などに、石けんと流水でよく手を洗う❷食品は十分に洗い、85度以上で1分以上中心まで加熱する❸調理器具はその都度、洗剤で洗い、熱湯などで十分に消毒する❹下痢などの症状が見られる場合には、浴槽に入らず、掛け湯かシャワーで済ませる❺バスタオルや手ふきタオルは、共有せず個別のものを準備する❻気になる症状がある場合は、早めに医療機関を受診する❼感染している人の吐物や便などを処理する際には、マスクや手袋などを装着し、飛び散らないように扱う

　日ごろからこまめに手洗いを心がけ、食品は十分に洗い、中心まで加熱するなど予防に心がけようね。

オオサキワンダーミュージアム　人と大自然の青空博物館

vol.20　未来の時間を生きる僕たちへ～自然と人と心をつなぐツーリズム～」を公開しています。

問い合わせ 世界農業遺産推進課自然共生推進担当電話番号23-2281

　去る9月5日に「第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」を開催しました。全国から300人以上がオンライン参加し、農泊のさまざまな実践報告やその意義と可能性について議論しました。全国各地の農泊関係者が交流する催しとなりました。

　この大会に合わせて、大崎地域の農泊の今と可能性を発信するショートフィルムを作成しました。

　このショートフィルムは大崎市古川出身の役者、劇作家、演出家で、おおさき宝大使でもある高泉さんに構成・脚本・監修をしていただき、大学進学を機に関東で暮らし始めた大崎市出身の若者が、大崎地域で農業やグリーンツーリズム・農泊を実践している人との交流を通じて、大崎地域の魅力を再認識していくストーリーとなっています。

　大崎地域へ行ってみたい、農泊を体験してみたいと思ってもらえるような作品になっています。

　市ウェブサイトで公開していますので、ぜひ見てください。

市長コラム　天地人 　祝誕生15周年

　去る11月3日、大崎市民会館で「大崎市誕生15周年記念式典」が、令和3年大崎市表彰式と併せて挙行されました。

　田尻地域出身の佐野副知事や、小野寺代議士、姉妹都市の首長の皆様、おおさき宝大使の皆様にもご光来いただき、村井知事や間垣親方を襲名した白鵬翔さんからのビデオメッセージも寄せられました。

　式典では、表彰をはじめ、記念映像「おおさきの魅力『真』発見」と「未来に向けて」の上映。おおさき宝大使の水森かおりさんのミニステージ「鳴子峡」の熱唱で盛り上げていただきました。

　大崎市誕生から15周年を迎えることができました。この間、幾度も大きな災害に見舞われ、その試練からも立ち上がってまいりました。今、新型コロナウイルスとも闘っております。

 一方で、化女沼のラムサール条約登録、鳴子ダムの選奨土木遺産、岩出山内川の世界かんがい施設遺産、大崎耕土の世界農業遺産認定など国際的認定、ブランド力も高まってまいりました。

　さらに、創造的復興、地方創生を目指し、市民病院、図書館、田尻・鳴子総合支所、道の駅等の拠点整備も進み、本丸新本庁舎も築城中です。

　15年は、人生で言えば青年期を迎えたことになります。また、論語では志学の時期でもあります。

　15年の歩みを礎に、アフターコロナやSDGｓ、デジタル化も視点に、宝の都（くに）おおさきのまちづくりを力強く推進してまいりましょう！